



▲夜市のようす

たくさんの人出でにぎわう夜市

本渡中央銀天街アーケードで夜市がスタート

本渡中央銀天街アーケードで6月28日、「銀天街夜市」がスタートしました。本渡中央商店街振興組合が、夏の夕涼みを目的に同アーケードができた昭和48年から行っている恒例行事です。この日はピンゴゲームが行われたほか、焼き鳥やピンポン玉すくいなどの露店が並び、家族連れなどたくさんの人出でにぎわっていました。

同夜市は、8月9日までの毎週土曜日の夜に開かれています。

地域に密着した保護司活動の拠点が生

天草地区更生保護サポートセンター開所式

天草地区保護司会（鶴田紳一会長ほか、102人）は7月11日、活動拠点として「天草地区更生保護サポートセンター」を本渡町本渡の旧天草広域連合事務所内に開所しました。この日は開所式が同所で行われ、関係者など50人が出席。熊本保護観察所の川田香所長から、同センターに交代で常駐する企画調整保護司18人に委嘱状が手渡された後、鶴田会長が「犯罪のない、住みよい、明るい天草をつくりましょう」とあいさつされました。同センターは、毎週月～金曜日の午前9時から午後4時まで開所（祝日、年末年始は除く）。保護司の支援のほか犯罪・非行に関する相談を行います。詳細は同センター☎③5964へ。



▲同センターの看板前で記念の一枚
(川田所長〔左〕と鶴田会長〔左から2番目〕、中村市長)

ゆったりとした御所浦の海を満喫!

御所浦町で修学旅行生を受け入れ

7月1日から同3日まで、奈良県立生駒高校2年生116人が修学旅行で御所浦町を訪れました。御所浦アイランドツーリズム推進協議会が受け入れたもので、生徒たちは同町内の一般家庭や民宿など22軒に宿泊し、伝馬船やとんとこ漁、魚さばき、養殖の魚のえさやりなどを体験。伝馬船を体験した33人は、インストラクターの指導を受けながら楽しそうに櫓を漕ぎ、ゆったりとした御所浦の海を満喫していました。



▲伝馬船を体験する生徒たち

歌い継がれる牛深ハイヤ節を熱唱

牛深ハイヤ節全国大会

6月28・29日、「第14回牛深ハイヤ節全国大会」が牛深総合センターで開かれ、全国から102人が出場しました。年代ごとに5つの部門を設けて予選・決勝（ジュニアの部は決勝のみ）を行い、ジュニアの部を除く各部門の優勝者で総合グランプリを競いました。

結果は、青年の部で優勝した大分県日田市の吉富今日子さんが総合グランプリを受賞。吉富さんは、「私の子どもたちの世代にも歌を引き継いでいきたい」と話していました。



▲総合グランプリを受賞した吉富さん

子どもたちが熱戦を展開

子ども交流ドッジボール大会

6月29日、有明町内の小学生の交流を目的とした「子ども交流ドッジボール大会」が有明グラウンドで開催され、12チーム・80人の児童が参加しました。下津浦地区振興会が初めて行ったもので、低学年と高学年に分かれて試合を実施。試合では、激しいボールの投げ合いが繰り広げられ、保護者からは盛んに声援があがっていました。参加した浦和小学校6年の柴田菜央さんは、「ボールが飛んできたときはハラハラ、ドキドキしたけど楽しかった」と笑顔で話していました。



▲相手の内野にめがけてボールを投げる児童

海の生き物を調べたよ!

図鑑で天草海体験

中央図書館で7月12日、子どもたちに天草の海の生き物を知ってもらおうと「図鑑で天草海体験」が開催され、親子連れなど26人が参加しました。海の生き物の調査・研究をしている“天草海部”の正角雅代さんが、自身が撮影した天草の海の生き物の写真などを紹介。その後、海中を再現した縦3m・横4mの模型が登場し、子どもたちは図書館にある図鑑を使って魚の名前や生態などを調べていました。参加した子どもは、「図鑑で調べるのが楽しくなった」と話していました。



▲映像で海の紹介をする正角さん(右上)